



つとむ通信

ともに変えよう富津の未来
ともに創ろう富津の未来

千葉県議会議員 渡辺つとむ事務所
千葉県富津市千種新田375-5

TEL0439-65-0526 FAX0439-65-0683

e-mail tsutomu364@rondo.plala.or.jp



ホームページ

政策討議資料

No.36 令和7年 夏 活動報告

千葉県議会議員 渡辺つとむは、令和7年6月議会で予算委員会委員を再び拝命し、県内および地元富津市の諸問題について県の姿勢を質しました。今年は3月に県知事選挙があったため、3月の新しい知事が決まる前は、事務的経費や事業の決定している内容についての審査をおこない(骨格予算)、新しい知事決定後の6月にそれ以外の事業についての審査を行いました。(肉付け予算)

また、所属する県土整備常任委員会では地域課題等についての問題を指摘し発言をいたしました。今回はその件についての議会報告をいたします。ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

6月議会予算委員会(肉付け予算)

県は、森林整備事業において6月補正予算の計上により間伐の支援を行うとのことだが、多様で健全な森林を維持していくためには、間伐等の森林整備の促進は重要であると考え。本県では、森林環境譲与税を活用した事例として、都市地域と森林地域の市町村が協定を締結し、都市部の市町村の費用負担により森林地域の市町村が森林整備を進め、森林整備に伴う二酸化炭素の吸収量を県が認証する取組が行われていると聞いている。そこで伺う。

問 市町村間の森林整備に関する協定の実績はどうか。

答 森林整備に関する市町村間の協定については、これまで県内の4組の市町村が県のマッチングにより締結しており、昨年度

は、松戸市と鴨川市が連携協定を締結している。

この協定により例えば、松戸市では森林環境譲与税を活用し、鴨川市の森林の間伐を進め、それによって得られる二酸化炭素吸収量を取得するなど、両市が連携して森林整備に取り組んでいる。



要望 市町村の連携が進むよう、引き続きこうした協定の締結を進めていって欲しい。そのためには、個々の市町村の職員に森林行政に関するノウハウが必要だと思う。そこで

問 県は、市町村に対し他にどのような支援を行っているのか。

答弁 市町村職員の森林・林業施策の専門知識や経験を補うために、千葉県森林組合連合会に相談窓口を設置するとともに、森林整備の積算や検査等に関する研修会を開催するなどの支援を行っている。



➤ 漁港整備について

問 漁港整備について、県では、どのように取り組んでいるのか

答弁 現在、拠点のうち、銚子、片貝、富津漁港については、漁船の大型化への対応など機能強化を図るため、防波堤の延伸や岸壁の整備などを進めている。

また、全ての県営漁港において、機能保全計画に基づく老朽化対策を進めており、今年度は13漁港で施設の補修や浚渫を行う。

問 富津漁港の整備は、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 富津漁港では、漁業の効率化や安全性の向上を図るため今年8月を目途に整備事業計画を策定し、漁船を停める泊地の水深を増深するとともに、物揚げ場の改良等を行う。

➤ 水道料金について

老朽化対策や耐震化、物価高騰などへの対応が必要なことから、県内3市がこの4月から水道料金を値上げし、県営水道も料金改定について審議会へ諮問するなど、県内の多くの水道事業体で料金値上げの検討が進められている。もともと南房総地域の料金水準が最も高かったのだが、私の地元であるかずさ地域では、令和6年4月に改訂を行い、現在、県内で最も高い水準となっている。

問 かずさ地域や南房総地域の料金水準はなぜ高いのか。

答弁 かずさ地域や南房総地域では、県北西部の地域に比べ水源に乏しいという地理的要因や人口密度が低く給水効率が悪いことなどから、もとより給水原価が高いことが要因の一つと考えられる。

問 給水原価が高いとのことだが、どの程度の差があるのか気になる。県内水道事業体間の給水原価の格差はどの程度あるのか。

答弁 令和5年度決算値で、最も低い流山市(141.71円)に対し、かずさ地域(かずさ(企)268.56円)で約2倍(1.90倍)、南房総地域(最も高い鋸南町477.08円)で約3倍(3.37倍)、最も高い市原市(562.63円)で約4倍(3.97)の格差がある。

渡辺 給水原価の格差が約4倍ともなると、その格差は大きいと言わざるを得ない。地方公営企業である水道事業は独立採算制に基づき、料金収入で運営するのが原則であり、県内でも値上げをする団体が増えている現状があるが、人口減少が進み給水効率が更に悪化してくると県内の水道料金の格差は、ますます広がるのが危惧される。

県では水道料金の格差是正を目的に水道事業体へ補助している市町村水道総合対策事業補助金を、今年度は28億8千5百万円計上している、そこで伺う。

問 今年度の市町村水道総合対策事業補助金の内訳はどうなっているか。

答弁 昨年度は18事業体、19事業へ交付したが、今年度は、九十九里、南房総、東総地域などの17事業体、18事業に対して交付する予定だ。

問 例年並みの交付予定のようだが、格差是正にどれほどの効果があるのか。水道料金の格差是正にどの程度の効果があるのか。

答弁 県内水道事業体における、令和7年4月1日現在の口径13mmにおける1か月20㎡使用した場合の料金では、約2.4倍(2.41)まで圧縮されている。

要望

水道事業は料金収入で運営することが原則だが、水道料金の格差を是正し、住民負担の軽減に重要な役割を果たしてきたところでもある。引き続き適切な対応に努めていただきたい。

6月議会 県土整備常任委員会 質疑

去る2025年6月17日県議会県土整備常任委員会が開催されました。そこでの執行部と渡辺務の質疑の内容報告をします。

➤ 県道君津大貫線について

県道君津大貫線は、JR 大貫駅周辺から君津市中心市街地を經由し、坂田地区の国道16号を結び、木更津方面にアクセスする地元の産業振興や地域活性化に寄与する道路だ。令和6年2月には、下湯江から本郷までの1,6キロメートルが本郷バイパスとして開通し、円滑な交通と歩行者の安

全性が向上したところだが、バイパスの沿線は田園地帯のため夜間は暗く、地元からは照明施設の設置の要望が上がっている。特に通学路として利用する高校生にとっては、大変危険だと心配する住民の声も多い。そこで伺う。(真っ暗な本郷バイパス君津側)



問 本郷バイパスにおける照明施設等の検討状況はどうか。

答弁 本郷バイパスの照明灯は主要な交差点3か所に設置済みだが、今年度新たに君津側の曲線部に設置を予定している。直線部は、富津市で防犯灯の設置を検討するとともに、県で歩車道境界ブロックの上に視線誘導標を設置予定だ。

要望 照明対策について、地元市と調整いただいていることが確認できた。本年3月には、千葉ロッテマリーンズの2軍施設が君津市に移転することが決定し、市道を経由して当該地区にアクセスできる本郷バイパスの利用者も増加することが想定されるので、是非とも早期の対応をお願いしたい。

➤ 国道465号千種新田バイパスの進捗について



渡辺 千種新田バイパスについて。国道465号は、房総半島中央部を東西に横断し、地域間交流に資するとともに、緊急輸送道路にも指定されている重要な道路だ。しかし富津市千種新田地先においては、幅員狭小な箇所が多く残されており、通行に支障をきたしている。県では現在千種新田バイパスの整備を進めており、完成により安全で円滑な通行が確保されるとともに、津波や高潮が発生した際の緊急避難路として重要な役割が期待されることから、渡辺は早期整備を訴えてきたところ。そこで伺う。

問 国道465号千種新田バイパスの進捗状況はどうか。

答 国道465号富津市千種新田地先では安全で円滑な交通を確保するため延長950mの千種新田バイパスを整備している。これまでに西側290mの市施工区間の整備が完了しており、残る660mの県施行区間では、現在橋梁の東側の下部工工事に着手したところだ。今年度は西側の下部工工事にも着手する予定。引き続き早期完成に向けて整備を進める。

要望 JR内房線を跨ぐ橋梁の下部工工事に着手したことは大きな進展だ。鉄道に近接した箇所での工事となることから、安全に配慮し着実に整備を進めるよう要望する。

活動報告

参議院議員会館で国会議員と
フェーズフリー政策についての意見交換会



千葉市内で道路要望関連会議出席



ギャンブル依存症家族の会千葉と意見交換



渡辺つとむプロフィール

昭和36年4月25日 富津市千種新田生れ
 県立木更津高校卒
 立教大学経済学部卒(弁論部出身)
 工学院大学専門学校建築科研究科卒
 藤和不動産(株)財務部に勤務後
 現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役



元富津市議会議員(令和2年～令和3年)
 富津市バドミントン協会会長
 富津市国際交流協会副会長
 富津市スポーツ推進委員
 令和5年4月 千葉県議会議員当選
 千葉県議会 県土整備常任委員会副委員長
 県議会 議会運営委員会委員
 千葉自民党政調会 委員